東京2020大会後の神宮外苑地区のまちづくり検討会

第2回検討会資料

資料3

【 目 次 】

- 1 地区の現状と課題の整理 (1)地区のエリア別現状
- 2 まちづくりの方向性
 - (1) まちづくりの目標
 - (2) 将来像の実現イメージ
 - (3) まちづくりの誘導方針(案)
 - 土地利用の方針(ゾーニングと導入機能)
 - みどりとオープンスペースの方針
 - 歩行者ネットワーク形成の方針
 - 景観形成の方針
 - ・ 防災の方針
 - エリアマネジメントの方針

2018(平成30)年7月2日(月)

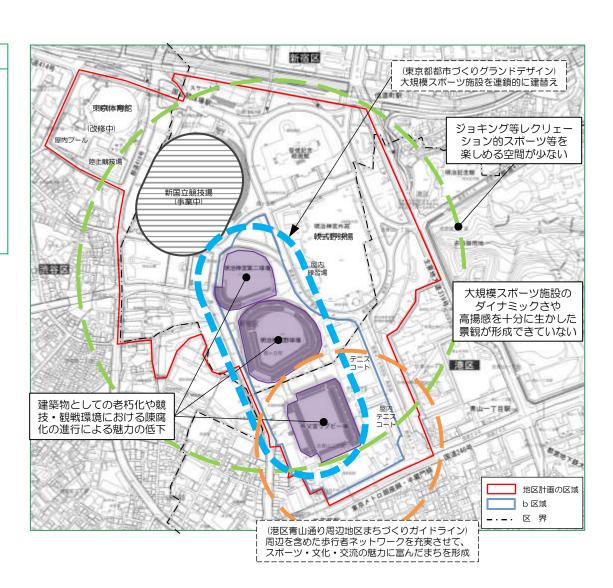
1 地区の現状と課題の整理 (1)地区のエリア別現状

スポーツ環境

◎スポーツ環境

スポーツ施設とその周りの空間

- ・築年数の経過による老朽化や、競技・観戦環境の面における陳腐化の進行、今日的な競技場としての魅力が十分でない
- ジョキング等レクリェーション的 スポーツ等を楽しめる空間が少な い
- 大規模スポーツ施設のダイナミックさや高揚感を十分に生かした景観が形成できていない



スポーツ以外の機能

◎スポーツ以外の機能

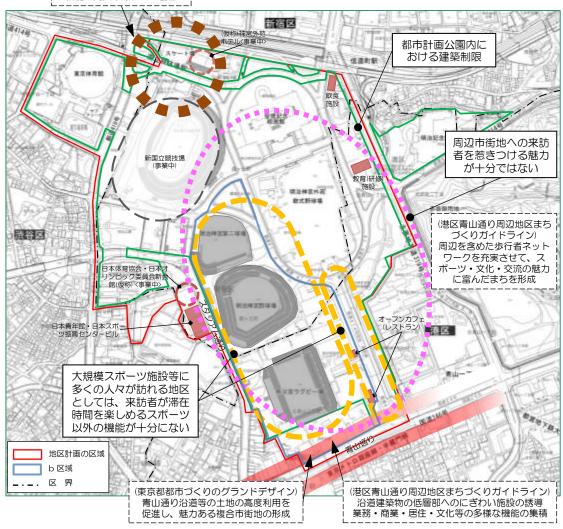
スポーツ以外の 機能 ・大規模スポーツ施設等に多くの 人々が訪れる地区としては、来 訪者が滞在時間を楽しめるス ポーツ以外の機能が十分にない

周辺市街地への来訪者を惹きつける魅力が十分ではない

法規制

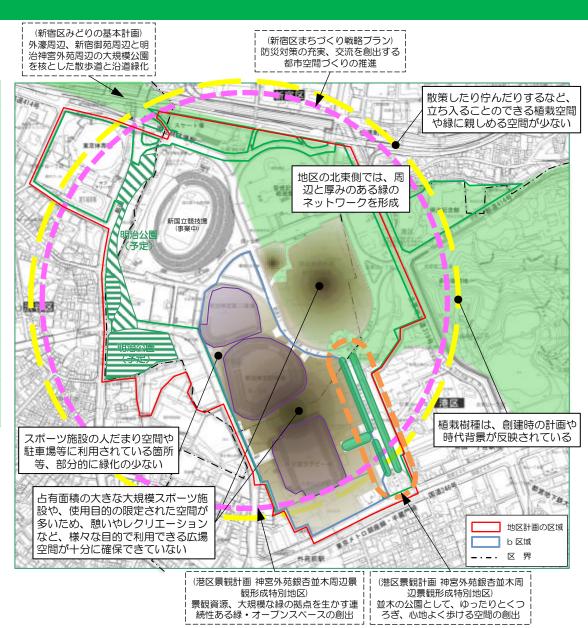
• 都市計画公園内における建築制限

(新宿区まちづくり戦略プラン) 国立競技場駅及び駅周辺の都市 機能の充実や賑わいの創出



みどり・広場空間

◎みどり・広場空間 みどり・広場 生長した樹林地等の視覚的に楽しめる 空間 緑に対し、散策したり佇んだりするな ど、立ち入ることのできる植栽空間や 緑に親しめる空間が少ない • 占有面積の大きな大規模スポーツ施設 や、使用目的の限定された空間が多い ため、憩いやレクリエーションなど、 様々な目的で利用できる広場空間が十 分に確保できていない • スポーツ施設の人だまり空間や駐車場 等に利用されている箇所等、部分的に 緑化の少ないところがある • 植栽樹種は、創建時の計画や時代背景 が反映されている 地区と周辺の ・地区の北東側では、周辺と厚みのある みどり 緑のネットワークを形成 緑の量※ ・絵画館、御観兵榎周辺は緑がまとまっ ているが、b区域側では緑が少ない



歴史•文化資源

◎歴史•文化資源

- ・地域の歴史・文化資源である明治神宮 聖徳記念絵画館をいかした地区全体の 景観が十分に形成できていない
- 四季折々の神宮外苑いちょう並木の魅力を楽しめる憩いの空間や機会が十分に用意できていない



歩行者空間

(新宿区みどりの基本計画) 新宿御苑から明治神宮外苑、新宿 (新宿区まちづくり戦略プラン) 通りや明治通り、外苑東通りなど 駅と神宮外苑までのバリアフリー化 を歩きたくなる道としての整備 ◎歩行者空間 (新宿区景観形成ガイドライン) 防災対策の充実 步行者空間 ・公園区域内に車道が多く、また、各施 設の敷地間にフェンスや塀等が設けら れたり、駐車場等に利用されているた め、歩行者が自由に移動、散策が可能 な歩行者空間が十分に確保できていな (1) 新国立競技場 (事業中) ・整備時期が古い施設が多く、バリアフ リーの措置が十分講じられていない 公園区域内に車道が多く、 また、各施設の敷地間に フェンスや塀等が設けら (東京都都市づくりグランドデザイン) れたり、駐車場等に利用 歩行者空間の整備等により、にぎわいと されているため、歩行者 風格のあるスポーツクラスターの形成 が自由に移動、散策が可 能な歩行者空間が十分に 確保できていない 整備時期が古い施設が多 (東京都地域防災計画等) く、バリアフリーの措置 神宮外苑地区:広域避難場所の指定 が十分講じられていない 広場等の避難有効面積の確保 避難場所へのアプローチの確保 防災機能の確保 (備蓄倉庫等) 地区計画の区域 b 区域 _._. 区 界 (港区青山通り周辺地区まちづく りガイドライン) 遮る壁,塀,フェンス 周辺を含めた歩行者ネットワーク を充実させて、スポーツ・文化・ 交流の魅力に富んだまちを形成

2 まちづくりの方向性 (1) まちづくりの目標

まちづくりの目標

まちづくりの目標は、神宮外苑地区地区計画に示す以下の将来像の実現を図ることとする。

地区計画の目標

国立霞ヶ丘競技場の建替えを契機として、地区内のスポーツ施設等の建替えを促進し、世界的競技大会の開催が可能となるスポーツ拠点を創造する。

いちょう並木から絵画館を臨む象徴的な景観を保全するとともに、緑豊かな風格ある景観の創出、 バリアフリー化された歩行者空間の整備など、成熟した都市・東京の新しい魅力となるまちづくり を推進する。

(まちの将来像)

- 1. 大規模スポーツ施設等が集積し、国内外から人々が集うまち 大規模スポーツ施設を中心とした施設の集積地区として、既存施設の更新及び周辺基盤の整備 を推進し、集客力が高くにぎわい溢れるスポーツ・文化・交流のまちを形成する。
- 2. 首都東京の顔にふさわしい緑豊かで風格と活力を兼ね備えた魅力的なまちいちょう並木から絵画館を臨む象徴的なビスタ景を保全するとともに、風格ある景観を維持する。鉄道駅周辺や幹線道路沿道では、商業、業務、交流等の都市機能の導入を促進し、東京の顔となる地区にふさわしい風格と活力が共存する魅力あるまちを目指す。
- 3. 誰もが利用しやすく、安全・安心で快適なまち 立体的な歩行者ネットワークの形成により、歩行者動線のバリアフリー化を推進する。また、 広場、主要スポーツ施設等は、都立明治公園と一体となった防災拠点として防災性を強化するとと もに、緑豊かな自然環境を保全し、安全・安心で快適なまちを形成する

(2) 将来像の実現イメージ

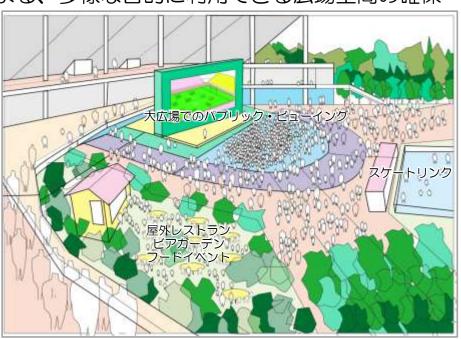
将来像 1

大規模スポーツ施設等が集積し、国内外から人々が集うまち

- ① 大規模なスポーツ施設の連鎖的建替えによる、競技者・来訪者にとって魅力的な施設整備
- ② スポーツ施設と相互に関連し合い、魅力を向上させる文化・交流等のにぎわい機能の導入
- ③ スポーツ施設の更新に伴う新たな空間の創出による、多様な目的に利用できる広場空間の確保



- 大規模スポーツ施設の周囲には、スポーツ関連ショップ群やスポーツミュージアムなどが整備され、スポーツ新製品等を体験したり、歴史を学んだりなど、文化的な交流によるにぎわいの空間ができている。
- 広場的空間では、周辺施設と連携したミニイベントなどが 繰り広げられ、子供から大人まで、憩い、遊び、交流でき る、楽しい雰囲気を醸し出している。



- ・普段の大広場では、カップルや家族連れが、自由に憩い、 遊ぶ空間として楽しみ、神宮外苑地区でのビッグイベント 時には、大広場でパブリック・ビューイングが行われ、会 場内外を通して臨場感溢れる空間として、多くの人たちが ビッグイベントの興奮を共有し、楽しんでいる。
- ・来訪者が季節を感じらえる多目的なイベント(屋外スケートリンク、屋外レストラン、ビアガーデンなど)が定期的 に開催され、四季折々のにぎわいが生まれている。

(2) 将来像の実現イメージ

将来像 2

首都東京の顔にふさわしい緑豊かで風格と活力を兼ね備えた魅力的なまち

- ① 絵画館・いちょう並木などの歴史・文化資源や大規模スポーツ施設群など、地域の個性・特色をいかした景観形成
- ② 広場や歩行者空間とみどりとが連携し、自然に親しめる空間の確保
- ③ 青山通り、スタジアム通りの沿道の魅力や地域特性をいかした機能の導入とともに、地区全体でにぎわいや憩いなどの多様な魅力が連担する空間の形成



- スタジアム通りでは、 多くの来街者が行き交 い、沿道のショップや 様々なイベント情報に より、地区内に引き込 まれている。
- ・青山通り沿いでは、業務・商業・交流等の多様な機能が集積し、 人々が魅力的なにぎわいを楽しんでいる。

- ・いちょう並木から絵画館を臨む風格ある象徴的な景観が保全されながら、並木と緑道、道路の三位ー体の雰囲気の中で人々が憩い、楽しんでいる。
- 沿道では、レストランやオープンカフェなどで人々が集い、緑道を散歩する人々は落ち着いた雰囲気を味わっている。



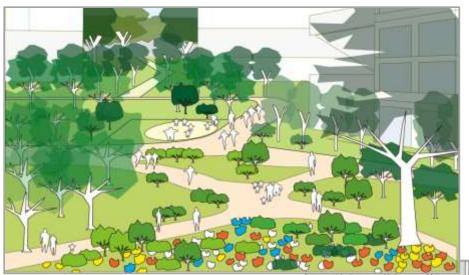
- 歩行者動線の結節点には小広場が 整備され、歩行者が大広場へと導 かれている。
- 絵画館前の広場やスポーツ施設の 間の大広場をつなぐ緑陰・緑道空 間は、にぎわいを感じながら憩い、 佇める場となっている。
- 歴史的な緑と新たな緑がメリハリ のある多様な緑空間を生み出し、 自然を親しめる場となっている。

(2) 将来像の実現イメージ

将来像3

誰もが利用しやすく、安全・安心で快適なまち

- ① 観客や来訪者が安全・円滑・快適に移動できる歩行者空間の確保
- ② 周辺鉄道駅からの質の高い導入空間の形成
- ③ 災害時の広域避難場所として、避難・滞留できる空間・機能の確保



- 大規模スポーツ施設をはじめとした 各施設の間のバリアフリーに配慮さ れた歩行者通路では、歩行者や車い す等が分かりやすいサインにより、 円滑かつ自由に移動している。
- 施設間を縫うように整備された散策 路では、移動だけではなく、ジョギ ングなどを楽しんでいる。
- 緑豊かな自然環境が、鳥のさえずり や緑陰を提供し、快適な歩行者空間 を形成している。

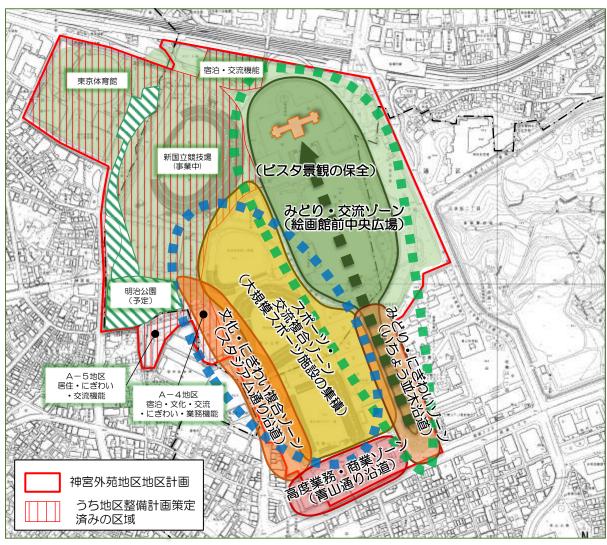


・災害時には、大広場が避難・ 滞留の拠点となり、その他の 広場空間や各施設でも、エリ アマネジメント団体等が帰宅 困難者や地域の人々の対応に 取り組んでいる。

土地利用の方針(ゾーニングと導入機能)①

- まちづくりの目標を踏まえ、大 きく2つの空間の方向性を想定
- i) メリハリのある豊かな緑と調和した空間整備・機能配置を図る<u>のび</u> **やかな憩いと交流の広場空間**
- ii)大規模スポーツ施設の再編・更新 と多様な機能の複合を図る活力あ る<u>にぎわいのプラザ空間</u>
- 上記の空間区分をベースとしながら、地区計画区域内を以下の ゾーン構成を設定
- ゾーンの境界部は、バッファー 的な空間形成に配慮

空間区分	ゾーン
♪のびやかな憩いと◆	みどり・交流ゾーン
交流の広場空間◆	みどり・にぎわいゾーン
にぎわいの	スポーツ・交流複合ゾーン
♪ プラザ空間 ◆	文化・にぎわい複合ゾーン
気品と活力の 沿道空間	高度業務・商業ゾーン



ゾーンイメージ図

土地利用の方針 (ゾーニングと導入機能) ②

○ ゾーンごとの想定される導入機能の方針

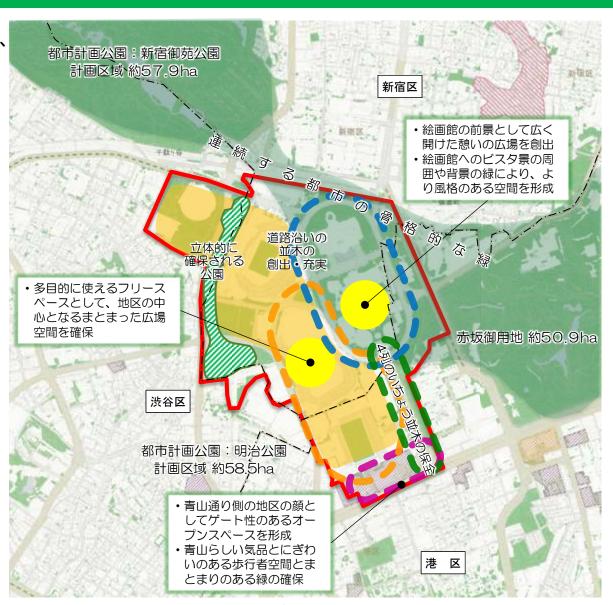
空間区分	ゾーン	想定される導入機能の方針
のびやかな憩いと 交流の広場空間	みどり・交流ゾーン (絵画館前中央広場)	創建趣旨を継承し、オープンな中央広場を中心としたメリハ リのある緑の空間整備と場所の特性をいかす機能が配置され た土地利用(ビスタ景観の保全・明るい園地を濃い緑で取り 囲む植栽パターン)
	みどり・にぎわいゾーン (いちょう並木沿道)	いちょう並木の眺望景観を保全しつつ、沿道環境(緑陰・歩 行者空間)をいかした憩いとにぎわいの土地利用
にぎわいの プラザ空間	スポーツ・交流複合ゾーン (大規模スポーツ施設の集積)	広場的空間の創出と大規模スポーツ施設の再編・更新を一体的に行い、いつでも、誰でもが様々な目的(憩・遊・学など)で利用できるオープンな地区の中心となるエリアを形成
	文化・にぎわい複合ゾーン (スタジアム通り沿道)	スタジアム通り沿道の高度利用を図りながら文化・にぎわい 等の人を地区内に引き込む多様な機能の導入 スポーツ・交流複合ゾーンの広場的空間と一体となったにぎ わいを創出
気品と活力の 沿道空間	高度業務・商業ゾーン (青山通り沿道)	青山通り沿道の高度利用化により、拠点性強化と業務・商業・交流等の機能の高度化を図り、青山通りにふさわしい気品と魅力ある複合市街地を形成

すでに地区整備計画が定められている地区の土地利用に関する基本方針(概要)

A-4地区	スポーツ関連施設等の集約的整備、スタジアム通り沿道のにぎわいを創出する宿泊、文化、交流、業務等の機能導入、バリアフリーや周辺と一体的な広場・緑道等の整備
A-5地区	バリアフリーや周辺と一体的な広場・緑道等の整備、居住機能の更新を通じた、にぎわい・交流機能 の導入

みどりとオープンスペースの方針 ①

- 緑の拠点の位置付け等を踏まえ、 以下の方針に基づき、みどりの 充実とオープンスペースの形成 を図る。
- i)新宿御苑公園から赤坂御用地へと 連なる都市の骨格となるまとまり のある緑の維持・強化
- ii) 絵画館を臨む4列のいちょう並木 の保全
- iii) 開けた広場空間の整備
 - 絵画館前は、ビスタ景を踏まえ、絵画館の前景として広く開けた憩いの 広場
 - スポーツ・交流複合ゾーンでは、地区の中心となるまとまった広場
- iv) 地区特性に応じたメリハリのある 多様な緑化を推進し、緑量の増加
 - 道路沿いには高木の植栽を行い、印象的な並木の環境を創出・充実
 - スポーツ施設の周辺には人溜まり空間の確保に配慮した広場状のオープンスペースを配置し、歩行者動線とも連携した緑化
 - 建物の壁面や屋上、デッキ上等への立体的な緑化
 - 歩行者動線やジョギングコースへの 緑陰空間の形成など、スポーツ環境 への配慮
 - 生物多様性や外苑の歴史を踏まえた 植栽種



みどりとオープンスペースの方針②

・みどりとオープンスペースのイメージ



正面に聖徳記念絵画館を臨む 保全すべき4列のいちょう並木



来訪者が憩える広場空間



散策のできるまとまりある樹林地 歩行者空間の緑陰形成



街路樹と一体となった高木植栽による 豊かな並木の環境

みどりとオープンスペースの方針 ③

・みどりとオープンスペースのイメージ



建物の壁面や屋上等を利用した立体的な緑化



新国立競技場に整備される立体公園イメージ

大成建設・梓設計・隈研吾建築都市設計事務所JV作成/JSC提供 注) バース等は完成予想イメージであり、実際のものとは異なる場合があります。 植栽は、完成後約10年の姿を想定しております。 行政協議中のため、今後計画が変更となる場合があります。



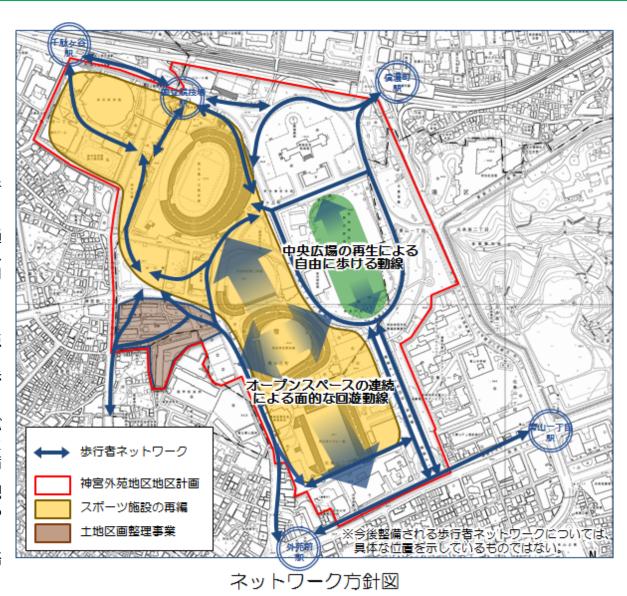
憩いの場として親しまれる芝生広場



スポーツ施設内の広い芝生空間での フィットネスイベント (出典: 港区HP)

歩行者ネットワーク形成の方針 ①

- 公園的な機能・空間の向上 に資する歩行者優先型のエ リアとすることを前提に、 以下の方針に基づいたネッ トワークの形成を図る。
- i) 歩道と歩道状空地により、歩行 者ネットワークの骨格を形成
- ii)大規模スポーツ施設の再編を通 じ、広場など多様なオープンス ペースを連続させ、敷地内を自 由に歩ける面的な回遊ネット ワークを形成
- iii)歩車分離・バリアフリーの観点から、施設計画と連携したデッキ等による立体的・重層的な歩行者系ネットワークを構築
- iv) 地下鉄駅や施設間を連絡するバリアフリー動線を確保するとともに、質の高い導入機能を整備
- ∨)大規模スポーツ施設の大量の観 客が円滑かつ快適に移動できる 幅員を確保
- vi)青山通りと接続する歩行者通路 等を整備



歩行者ネットワーク形成の方針 ②

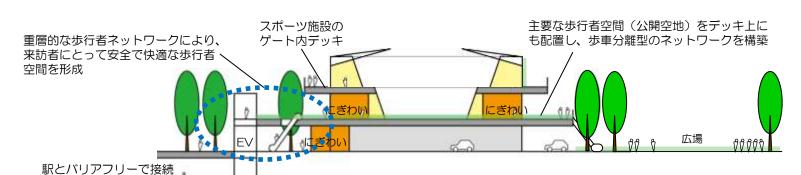
・歩行者空間のイメージ



にぎわい施設のある広場や、 みどり豊かなデッキ上の動線など 重層的なネットワーク

歩行者ネットワークの 骨格の1つとなる いちょう並木の歩道空間





重層的な歩行者系ネットワークイメージ

歩行者ネットワーク形成の方針 ③

・歩行者空間のイメージ



スポーツ施設間をつなぎ、 地区内を自由に歩けるプラザ型の歩行者空間



駅とまちをつなぐバリアフリー動線



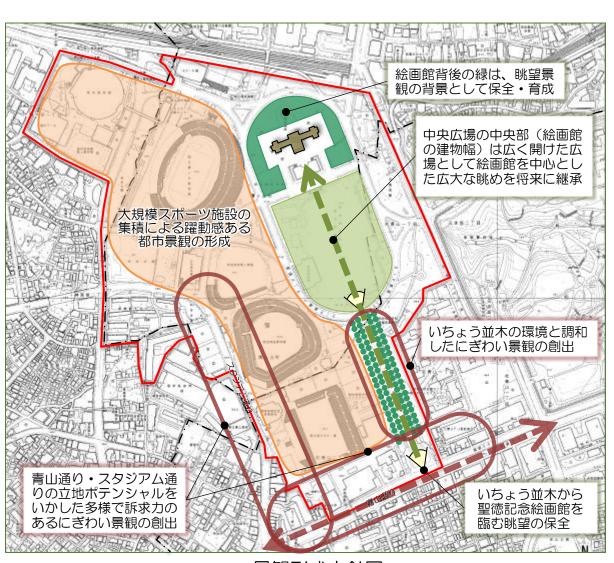
地区内を自由に歩けるみどり豊かなプラザ型の歩行者空間



広幅員の歩道と地下鉄駅を接続する動線

景観形成の方針 ①

- 〇 以下の考え方に則り、歴史や地 区特性をいかし、他に類を見な い魅力的な景観形成を目指す。
- i) いちょう並木から聖徳記念絵画館を 臨む眺望を保全し、さらにビスタ軸 の周囲に風格とうるおいに満ちた景 観を形成
- ii)新国立競技場等を含め、大規模スポーツ施設の連続性を意識したデザインの集積により、広範にわたり躍動感溢れる都市景観を形成
- iii)青山通り、スタジアム通り、いちょう並木沿いに、それぞれの通りの特性に応じた質の高いにぎわい景観を 創出
- iv)広場や緑、歩行者空間と調和させながら、明確なコンセプトのもとに建築物等を一体的に計画



景観形成方針図

景観形成の方針 ②

高さ(スカイライン形成)の考え方

i) 南北方向の考え方

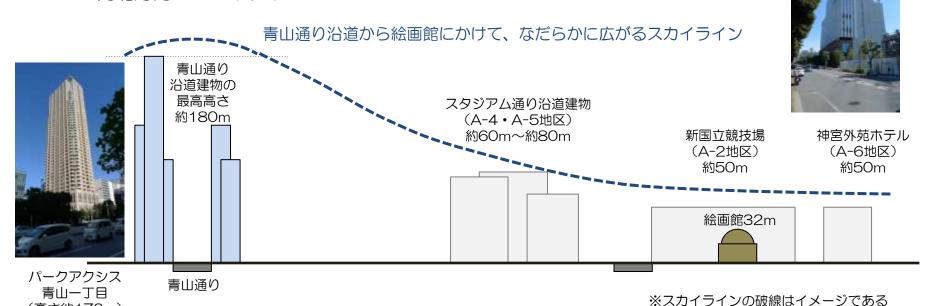
(高さ約172m)

青山通りのポテンシャルの活用、聖徳記念絵画館の保全すべき景観・環境への配慮、新国立競技場等との調和ある景観形成等の観点から、南側から北側にかけて、なだらかに広がるスカイラインの形成を基本とする

日本青年館・日本スポーツ振 興センタービル(A-4地区) (高さ約70m)

※周辺建物高さは目安として示したもの

南北方向のスカイライン



景観形成の方針 ③

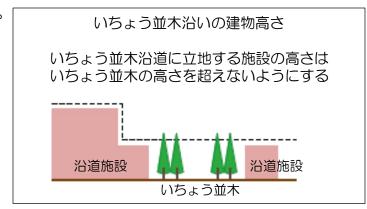
高さ(スカイライン形成)の考え方

ii)東西方向の考え方

・スタジアム通り沿い等で開発中の建物の高さとの関係、いちょう並木付近では並木よりも高さを抑える考え方から、西側から東側にかけて、なだらかに広がるスカイラインの形成を基本とする。

・スタジアム通りから見た、新国立競技場等との調和ある景観形成等の観点から、スカイラインを形

成する。





東西方向のスカイライン

スタジアム通りからいちょう並木にかけて、なだらかに広がるスカイライン



景観形成の方針 ④

にぎわい景観形成の考え方

- ・いちょう並木沿いでは、地区内に整備される建物の低層部等ににぎわい施設の導入を図り、多様な緑の環境や、躍動感を醸し出すスポーツ施設等との調和・連携の取れたにぎわい景観を創出する。
- 大規模スポーツ施設のアクティビティの表出などにより、にぎわいが地区に波及し、スポーツの高揚感を感じられる景観を創出する。

(いちょう並木沿いのにぎわい景観形成)









多様な緑の環境と調和したにぎわい景観

景観形成の方針 ⑤

にぎわい景観形成の考え方

- スタジアム通り沿道では、地区の立地ポテンシャルをいかした、スポーツクラスターを構成する多様 な複合機能の導入を図るとともに、沿道での訴求力のあるにぎわいが、地区内部へと引きこむ空間を 創出する。
- ・青山通り沿道では、歩道と連続したデザインとするとともに、気品と活力に満ちた景観を創出する。(青山通り沿い・スタジアム通り沿いのにぎわい景観形成)



スタジアム通りに面したにぎわい施設



みどりと調和したにぎわい施設



街路樹と調和した通り沿いの にぎわいの街並み



交流イベント等も開催できる 歩道に面したオープンスペース



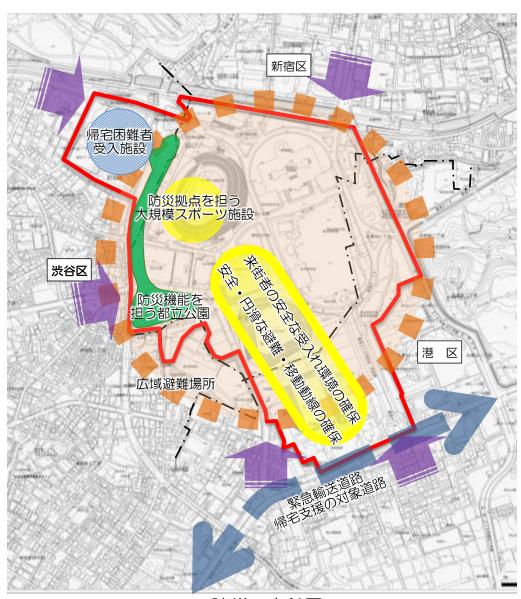
人を通りから地区内に引き込む にぎわい機能の配置



通り沿いのにぎわい機能と 通りを眺めるベンチ

防災の方針①

- 神宮外苑地区が広域避難場所であること、また大規模集客施設の集積地区であること等を踏まえ、防災の方針を以下とする。
- i)大規模スポーツ施設を都立明治公 園と一体となった災害時の防災拠 点とし、防災性を強化
- ii)歩道と一体的な歩道状空地・オープンスペースや面的に自由に移動できる歩行者ネットワークを形成し、多くの観客等も安全・円滑に避難・移動できる動線を確保
- iii)広域避難場所としての機能を維持するとともに、緊急輸送道路(青山通り)周辺からの地区内へのアクセス性を向上
- iv) 発災時における帰宅困難者対策として、周辺市街地への来街者の安全な受入れ環境も含め、一時滞留空間の確保に努める



防災の方針 ②

・防災機能・空間のイメージ



避難者等をスムーズに受け入れる 歩道と一体となった間口の広いオープンスペース



災害発生時には帰宅困難者支援施設となる 大規模スポーツ施設





スポーツ施設周辺における災害発生時に 一時滞留が可能な空間の確保

エリアマネジメントの方針

○ 多目的な利用が可能な大規模スポーツ施設や、多様なオープンスペースが広がる地区特性をいかし、 活力ある魅力的なまちづくりを目指し、関係者によるエリアマネジメント団体を組成するとともに、 以下の方針に沿ってエリアマネジメントを推進。

i) にぎわい創出

豊かな自然環境と調和した季節感のあるイベントをエリア全体で一体的に実施し、来訪者の交流促進や地区のにぎわいを創出

ii) 公的空間の維持・管理

植栽の管理や広場空間・憩い空間の 清掃など、公有地・民地を問わず公的 空間の維持・管理を来訪者にも体験の 機会として開放するなど、エリア全体 で一体的に実施

ⅱ)交通マネジメント

大規模な集客イベント時などの安全 で円滑な歩行者の移動等を確保するため、エリア全体で一体的な交通管理・ 規制を実施

iv) 防災力向上

平常時から定期的な防災訓練や発災時の避難・滞在空間、支援物資の連携などにより、エリア全体での防災力を向上



季節感あふれる イベントによるにぎわい創出



風格あるいちょう並木を維持する 一元的な剪定・管理



大規模集客イベント時の 安全・円滑な交通管理の実施



災害に備えた 定期的な防災訓練の実施

(出典:新宿区HP)